

令和8年4月期 業務実績報告書（経営総務課）

一般事項

1 水道料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較(C-B)	F 対前年比較(D-B)
1 調定件数	件	30,056	30,056	30,000	30,133	56	△ 77
2 調定水量	m ³	568,240	568,240	560,900	577,539	7,340	△ 9,299
3 調定料金(税抜)	円	177,450,058	177,450,058	177,200,000	179,481,695	250,058	△ 2,031,637
4 口振加入件数	件	24,450	24,450	-	24,560	-	△ 110

2 下水道使用料調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較(C-B)	F 対前年比較(D-B)
5 調定件数	件	19,586	19,586	19,700	19,465	△ 114	121
6 調定水量	m ³	370,825	370,825	368,000	372,236	2,825	△ 1,411
7 調定料金(税抜)	円	78,042,194	78,042,194	77,800,000	78,223,119	242,194	△ 180,925

3 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	69,576	-	71,145	△ 1,569
9 給水件数	件	30,009	-	30,181	△ 172
10 開栓処理件数	件	452	452	517	△ 65
11 閉栓処理件数	件	269	269	259	10
12 給水工事設計審査	件	31	31	21	10
13 給水工事竣工検査	件	40	40	36	4
14 経年メーター交換	件	174	174	151	23
15 メーター口径変更	件	1	1	5	△ 4
16 督促状発送数	件	1,401	1,401	1,420	△ 19
17 月末停止件数	件	150	-	121	29

4 排水設備業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	19	19	21	△ 2
19 排水設備工事完了検査	件	17	17	18	△ 1

5 水道料金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率	対前年比(B-D)
20 当年度分	195,099,179円	0.05%	197,311,854円	0.06%	△0.01%
21 過年度分	13,133,027円	93.38%	14,963,147円	92.47%	0.91%
22 計	208,232,206円	-	212,275,001円	-	-

6 下水道使用料徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率	対前年比(B-D)
23 当年度分	85,840,742円	0.01%	86,043,705円	0.00%	0.00%
24 過年度分	17,060,431円	82.80%	17,593,538円	82.74%	0.06%
25 計	102,901,173円	-	103,637,243円	-	-

7 受益者分(負) 担金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率	対前年比(B-D)
26 当年度分	0円	-	0円	-	-
27 過年度分	1,419,430円	3.13%	1,343,600円	0.97%	2.16%
28 計	1,419,430円	-	1,343,600円	-	-

特記事項

1. 4月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

【水道事業】

ア 収益的収支

当期の給水収益は195,195千円(税込)で、前月期に比べて13,114千円の増、対前年同月比では2,235千円の減となっています。営業収益は195,583千円、営業外収益は預金利息や事務手数料など8,875千円を執行しました。当期の営業費用は原水及び浄水費や配水費など30,568千円、特別損失は118千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事負担金や水道加入金2,162千円の執行となりました。支出は、建設改良費として事務費4,623千円を執行しました。

【下水道事業】

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は85,846千円(税込)で、前月期に比べて6,286千円の増、対前年同月比では199千円の減となっています。営業収益は85,847千円、営業外収益は、他会計補助金や負担金など502,061千円を執行しました。

当期の営業費用は処理場費や業務費など29,227千円、特別損失は82千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の支出は、建設改良費として事務費3,007千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 職員会議を開催

4月1日(水)に令和8年度第1回職員会議を開催しました。上下水道部は、地方公営企業法第39条第1項の規定により地方公務員法の適用が一部除外されており、時間外勤務については、労働基準法第36条の規定により市長と職員との間で協定を締結する必要があります。会議では令和8年度の時間外勤務、休日勤務について協議され、協議の結果、協定案は承認され、協定書並びに関係書類を瀬峰労働基準監督署に提出しました。

(2) 上下水道事業運営審議会を開催

第5回登米市上下水道事業運営審議会が4月27日(月)に開催され、水道料金及び下水道使用料等の在り方について、吉田副市長から登米市上下水道事業運営審議会(会長 山田一裕 東北工業大学教授)に対して諮問書が手渡されました。

水道料金及び下水道使用料等の在り方については、人口減少等に伴う料金収入の減収や、物価・人件費の上昇による維持管理費の高騰、老朽化した施設の更新に多大な費用を要する中、財政基盤の強化を図るため、料金水準及び料金体系等を4年周期で見直しを行うもので、令和8年度において適切な料金等の在り方について審議を行います。



【諮問書手交の様子】

令和8年4月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位: m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総配水量	772,853	772,853	811,380	812,314	△ 38,527	△ 39,461
総配水量	713,418	713,418	703,440	753,373	9,978	△ 39,955
1 有効水量	600,401	600,401	598,420	611,218	1,981	△ 10,817
(1) 有収水量	572,700	572,700	565,400	581,989	7,300	△ 9,289
(2) 無収水量	27,701	27,701	33,020	29,229	△ 5,319	△ 1,528
2 無効水量	113,017	113,017	105,020	142,155	7,997	△ 29,138
(1) 漏水量	112,979	112,979	104,400	142,095	8,579	△ 29,116
(2) その他無効水量	38	38	620	60	△ 582	△ 22
3 有収率	80.28%	80.28%	80.38%	77.25%	△ 0.10%	3.02%

※ 当月期の最大配水量は、4月24日(金)に記録した【24,920m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	2	61,894	0	0	0	0	61,894	0.0%
浄水施設整備事業	2	1,667,453	1	1,642,883	0	668	23,902	98.6%
配給水施設整備事業	33	892,610	0	72	0	3,955	888,583	0.5%

※ 件数及び金額は、工事+委託(事務費・人件費含む。)の合計です。

特記事項

1 出張市役所の開催

4月22日(水)に南方庁舎2階のシアターホールにおいて、出張市役所を開催しました。

出張市役所は、市民の市政に対する関心と理解を深め、開かれた市政の実現と市民との協働による本市の持続的な発展を具現化するため、市職員を派遣して開催されるものです。各部署は、出張市役所で取り扱うテーマを定めており、当課においてはこれを「水道水の水質」としていたところ、登米市食生活改善推進員協議会南方分会から依頼があり、今回の開催となりました。

当日は9名の参加者があり、水質基準や水質検査に関する説明のほか、簡易的な水質検査についても体験していただきました。参加者からは、「数字については難しかったが登米市の水は安心だと感じた」、「具体的な説明や体験も出来て良かった」との感想が寄せられました。



【出張市役所の様子】

2 三陸沖を震源とする地震の発生

4月20日(月)16時53分頃、岩手県の三陸沖を震源とするマグニチュード7.5の地震が発生しました。最大震度は青森県階上町で震度5強を記録し、本市においても震度5弱を記録しました。

上下水道部においては震度5弱以上の地震が発生した際は非常配備となることから、浄水及び配水の各業務受託者と協力し浄水施設、主要管路等の緊急点検を実施し、被害がないことが確認されたことから、19時30分に非常配備を解除しました。なお、翌日以降においても、今回の地震を原因とする施設の故障、大規模な漏水等は確認されていません。

◎ 漏水調査結果(累計)

漏水調査結果	施設	件数	漏水量(m ³ /h)
	配水管	4	1.640
	付属施設	0	0.000
	給水装置	11	2.590
	計	15	4.230

【漏水調査結果: 4月】

- 推定漏水量 4.230m³/h
- 推定効果額 約958千円
- 推定効果額算定
 - ・ R6年度給水原価 314.48円
 - ・ 4月推定漏水量 4.230m³/h
 - ・ 4.230m³/h × 24h × 30日 × 314.48円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位: m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D)		備考
				対前年度 (B)-(C)		
公共下水道(迫・中田・登米・南方)	228,850	228,850	223,844	5,006		1処理場
特定環境保全公共下水道	49,118	49,118	49,683	△565		3処理場
米谷・錦織処理区	9,248	9,248	9,748	△500		
豊里処理区	28,934	28,934	28,432	502		
津山処理区	10,936	10,936	11,503	△567		
流域関連特定環境保全公共下水道(石越)	11,171	11,171	10,882	289		
農業集落排水	99,110	99,110	98,643	467		24処理場
迫地区	7,611	7,611	7,627	△16		
東地区	2,498	2,498	2,540	△42		
中田地区	28,684	28,684	28,081	603		
豊里地区	1,503	1,503	1,842	△339		
米山地区	40,343	40,343	40,104	239		
南方地区	18,471	18,471	18,449	22		R7.4.1時点
浄化槽(特地・個排)	43,852	43,852	43,136	716		2,204基
合計	432,101	432,101	426,188	5,913		

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	7	353,453	1	4,826	0	458	348,169	1.5%
処理施設整備事業	6	795,755	1	509,388	0	2,550	283,817	64.3%

※金額は、工事+委託(事務費・人件費含む。)の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。※ポンプ施設整備事業については、令和7年度の予算計上が無いので状況報告から除く。

特記事項

1 汚水管渠築造工事が完了

4月期に迫町北方石打坂地区汚水管渠築造工事が完了しました。この工事は、開削工法による管路(施工延長L=70.80m)、マンホール(2基)及び公共汚水ますの整備を行ったものです。この工事をもって北方石打坂地区の面整備は完了となり、今後は管路施設埋設後の仮復旧の状態となっている道路舗装の本復旧工事を実施する予定です。公共下水道事業の早期完了に向け、引き続き汚水管渠の整備を行ってまいります。



【流調攪拌装置交換の状況】

2 流調攪拌装置の交換を実施

4月期に米山町の桜岡地区農業集落排水施設において、流調攪拌装置の故障警報が発生しました。現地確認の結果、過電流や過負荷を検出してリレースイッチが回路を遮断する現象が発生しており、原因はモーター軸の変形及びベアリングの摩擦・破損と判断されたため、該当部品の交換を実施し症状が改善しました。今後も安全・安心を確保するよう、適切な維持管理を行ってまいります。

公共汚水ますの照会状況(4月末)
照会件数
63件